

今日は皆さんに時間についてお話をします。実は、今週は「時の記念日」というのがあります。日本で初めて時計で時間をはかったのを記念してつくられたそうです。それがいつかは、自分で調べてください。「時の記念日」です。

さて、時間は不思議なものです。目には見えませんが誰もが同じ分だけ持っています。同じ長さのはずなのに、苦手な勉強をしているときや、人に待たされているときはとても長く感じることもあります。楽しいことをしているときや、急いでいるときなどは、「ああ、もっと時間が欲しい」と、とても短く感じるものです。そんな経験をしたことがあると思います。

2年生は、今、長さを図る勉強をしていますね。その時にものさしを使っています。時間をはかるにもものさしがあって「秒」や「分」「時間」などたくさんの単位があります。これから「10秒」の長さを試してみたいと思います。これから校長先生が用意始めと言いますから、心の中で10秒を数えてみてください。声を出してはいけませんよ。ちょうど10秒になったらはいと言います。では、やってみましょう。「用意、始め」・・・「はい」

10秒の長さ 分かりましたか。けっこう難しいものです。校長先生は、「だるまさんが転んだ」と早口で10回心の中で言うと、だいたい10秒間になります。

では、もう一度、10秒間を皆さんで試してみましょう。

「用意、始め」・・・「はい」 どうですか。こうしてみると、あっという間の10秒間ですが、けっこう長い時間に思えてきます。10秒でも無駄にしたらもったいない気がします。

時間は、誰でも同じ分だけ持っていますが、自分の時間を人にあげたり、時間をためておくことはできませんね。そんなことがもしできたとしたら、どうなってしまうでしょうか。

ミヒャエル・エンデというドイツの作家が書いた、「モモ」という本の中では、謎の灰色の男たちが、みんなの時間を次々と盗み取っていきます。みんなは、自分の時間が盗まれていることに全く気が付きません。でも、時間を盗まれた大人たちは、だんだんと不機嫌で、くたびれた、おこりっぽい顔をして、とげとげしい目つきになってしまいます。

でも、モモという小さな少女が、盗まれた時間を取り戻していくお話です。このお話のように知らないうちに時間が盗まれてしまったら大変なことです。時間がなくなっていくと、楽しいこともなくなってしまうのかもしれない。時間はとても大切です。限りのある時間を大切に使ってください。

お話をおわります。